



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

1996・97年度国際ロータリー・テーマ

国際ロータリー会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ



1. 先達の歩みに敬意を払うことによって未来を築こう
2. 会員増強で未来を築こう
3. 職業奉仕の質を高めることによって未来を築こう
4. 次の世代を準備することによって未来を築こう
5. 平和な都市づくりに尽力し、未来を築こう
6. ロータリー財団を支援することによって未来を築こう

第450回 平成9年3月7日(金)

[本日のプログラム]

1. 点 鐘
2. 国 歌 斉 唱
3. ロータリーソング「我等の生業」
4. 「四つのテスト」唱和
- 5 食 事
6. 会 長 の 時 間
7. 幹 事 報 告
8. 各 委 員 会 報 告
9. 3 月 セ レ モ ニ ー
10. 会員卓話 林 厚雄君
11. 点 鐘

- 次 回 予 告
- * 3月14日(金)
- 夜間例会
会員卓話
福田 誠君
創立10周年記念
行事実行委員会
- * 3月21日(金)
- 社会奉仕委員会

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週金曜日(12:30~13:30)	会 長	伊東忠寛
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	徳丸彰一
事務局	宮崎郡佐土原町大字下田島20614- 佐土原町建築業協会内	幹 事	赤木達也
	☎880-02 ☎(FAX)0985-73-7170	会 計	宮原建樹
		会 員 課	垂水敏雄

第449回例会記録

1997. 2. 28

☆ 会長より 伊東忠寛君

1 会長の時間

(1) ビジター紹介

- 宮崎北RC 清水秀俊君
- 西都RC 上杉兼祺君

(2) 県中部分区IM終了に伴う謝礼について

2月16日シーガイア・サミットホールで開催されたIMについては、佐土原RCもCOホストとして参加し徳丸彰一君が会長代理として重責を果たしていただきましたが、ホストクラブの方から『佐土原RCの活力ある活動ぶりがよく分かりました…』とお褒めをいただきました。

徳丸彰一君以下出席会員に対してお礼を申し上げます。

本日、IM実行委員長・日高兵馬、中央分区代理・日高安徳氏から礼状が参りましたので紹介します。

なお、ビジターの清水秀俊君がホストクラブの会長であり後ほどご挨拶いただくことになっています。

(3) 第3回新世代会議の準備会について

2月24日(月)午後7時30分から日高時計天のビル3Fで行われ、徳丸委員長の代理として恒吉正志君・柳田光弘君と参加しました。

佐土原のヤンググループとして

- 佐土原町大字下那珂11812-4
宮崎大学学芸学部4年(国際交流協会員)

安藤義達(22歳)

- 佐土原町大字上田島1938-5
ゼロスタッフ・プロデューサー

井上真由美(24歳)

が参加していただき、活発な意見を発表してくれました。

ローターアクト適任者のようです。

今回は、3月3日(月)同じ場所で行われますが、今回はヤンググループのみで進めて内容を決定することになりました。

(4) 3月中の連絡体制について

出席率を確保するために責任ある連絡を徹底していただきたいと思えます。

第一班 田村勝二 君

第四班 藤堂孝一 君

第二班 郡司武俊 君

第五班 神宮寺利夫君

第三班 正岡文都 君

第六班 柳田光寛 君

(5) 次年度役員としての心構え

4月7日会長エレクト研修会(PETSベッツ)が開催されるそうですが、いよいよ次年度に向けて体制作りが始まったようであり、このPETSによって次年度のRI会長の方針が伝達され地区ガバナーの運営重点が示されることになっています。

本年度の各役員は次年度の役員に対してマンツーマンでしっかり引継ぎを行うようお願いします。

即ち、納得のいく引継ぎ…人を相手にせず自らが研鑽していたき、研究と創造により自分のカラーを出していただきたいと思えます。

因みに『PETS…』の主な目的は、

次年度のRIテーマ実施に力を貸し、時期会長に対し、クラブ・地区・RIの諸活動に指導力を発揮するよう促すことです。

時期ガバナーから免除されない限り、代理は認められません。

ロータリー情報(1)

ガバナー (Governor)

地区の指名委員会手続によって指名され、国際大会で選挙された、地区内における国際ロータリーの唯一の管理役員です。

選ばれるための条件(1)地区内クラブの名譽会員を除く現職なき会員(2)ガバナー就任時に7年以上のロータリー会員歴(3)クラブの会長を全期務めたことのある人(4)健康で、任務と責任を果たす意欲の盛んな人(5)任期開始直前の国際協議会に全期間研修出席の義務(6)本人はもとより、家族の品性にも、道徳的にも非難の余地のないこと。

☆幹事報告

赤木達也君

1. 例会変更通知

*宮崎南RC 3月3日12:30

宮崎市総合福祉保健センター

*日向中央RC 3月5日12:30

米の山(清掃作業)

*日向東RC 3月11日18:30

重喜会館

" 3月18日12:30

日向市中央公民館

" 3月25日の例会は、

3月23日13:00

日向ハイツ

日向中央RC創立10周年

記念式典のため

*宮崎北RC 3月19日12:30

特別養護老人ホーム「芳生苑」

*日向RC 3月24日の例会は、

3月23日13:00

日向ハイツ

2. 次週3月7日の例会は、シーサイド・

ホテルフェニックスで行います。

☆出席報告

委員長 山本民生君

会 員 数	30名
H C 出席者数	22名
欠 席 者 数	8名
出 席 率	73.3%
メークアップ者数	4名
修 正 出 席 率	86.7%
欠 席 者 名	藤・井・田・井

今回は、例会場の録音機器が故障のためか、録音が全く聞き取れませんでしたので、以上で例会記録を終わります。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

☆会員卓話

1/24 濱田松太郎君

今年は丑年ですので、牛について若干話してみます。

牛には胃が四つあり、反芻します。牛のルーツは、紀元前6千年～7千年に西南アジアで飼育されたという記録が残っています。日本では、弥生時代に大陸や朝鮮から移入されたと言われております。

昔は、やはり屠殺して食べていたようです。紀元前4百年～5百年頃の牛の埴輪が奈良県で発掘されています。

紀元5百年頃に仏教が大陸から伝来しますと、天智天皇は食肉禁止令を出され、生き物を食べてはならないことになりました。江戸時代になると、徳川綱吉將軍は「生類憐れみの令」を制定し、生き物を殺すことを一切禁止しました。

その後、戦国時代(紀元1600年頃)になると、ヨーロッパ人が来日して食肉文化をもたらし、明治に至りました。

当時の和牛は貧弱で、馬が主体でした。第二次大戦後は馬の必要性が低くなると共に、農業機械が未発達でしたので、役肉用牛が重宝されましたが、昭和38年以降、畜産農家は肉牛の飼育に取り組み、本県農業生産高の47.6%を占めるまでになりました。当町の永野氏が、日本の称号を受けた『泰平号』和牛を生産されたことは、大きな励ましになっています。輸入牛に負けない良質の美味しい宮崎牛の名声を高めていくことが、今後ますます望まれます。